

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

「夢かなうその日」
～私たちの町 つつじが丘～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution (please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

「夢かなうその日」～これは本校の校歌になっている。本校の校歌は、開校する際に地域の方々や子どもたちから歌詞を募集し、みんなで考えてつなぎ合わせてできた素敵な歌詞からできている。そこには子どもたちの夢や希望、地域の方の願いが盛り込まれている。本校は開校から19年目の新しい学校であり、校区も開校に合わせて急速に整備された新しい町である。校区の方の街づくりに対する思いは熱く、校歌作りもその熱い思いの一つである。子どもたちに夢をもってほしい、明るく輝かしい未来に向かって突き進んでほしいという願いの表れと思われる。

本校では、そんな温かな環境に住む子供たちに、校区に愛着を感じ、さらに自分たちの住む町に誇りをもってほしいと願い、教育活動を進めている。校区に数多くある福祉施設訪問や校区にいる職人さんの仕事体験、中学校と連携した公園清掃、地域を知るためのウォークラリーなどがそれらの活動例である。

これらのことを「持続可能な開発のための教育」(ESD)の推進に結びつけていくために、これらの教育活動を見直し、生活科や総合的な学習の時間を中心にし、全校行事なども含めて実践を進めることにした。そして地域に愛着をもち、さらに発展させていこうとする心を育てたいと考えている。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDへの取り組みを「地域」というキーワードで進める。新しい町、歴史の浅い町だからこそ、地域の人々に触れ、地域を発展させようという願いをもってほしいと考えている。また、これらの活動を自主的に行うことができるように教育活動を工夫し、子どもたち一人一人が自分たちのもっている力に気付き、自己肯定観を高めることができるようにしたい。

そのための活動を以下のように考えた。

(1) 地域を知る

公園や店、街並みを探検することで、地域を知る。

- ・「生活科」で公園探検(1年)
- ・「生活科」で町探検(2年)
- ・ウォークラリー(全校行事)

(2) 地域と触れ合い、地域に学ぶ

地域の人と触れ合い学ぶことで、地域の特性や問題点を理解する。

- ・「総合的な学習の時間」で職人さんの仕事体験（3年）
 - ・「総合的な学習の時間」で福祉施設訪問（5年）
 - ・「社会科」でユネスコ出前講座～戦争の遺構から学ぶ～（6年）
- (3) 地域に貢献する。

自分たちにできることを考え、地域の持続発展のために活動する。

- ・「総合的な学習の時間」で長三池の水質改善プロジェクト（4年）
- ・530運動（全校行事）
- ・スーパークリーン大作戦（小中連携行事）

Execution（プロジェクトの実施）

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

本校では、低学年のうちから地域教材を学習の中に取り込んでいけるように教育課程を編成している。これらの学習を通して、環境保護の大切さや社会の一員としての自覚と責任、地域の発展まで考えることができると期待する。そのために、地域を知ることから始め、地域に触れ合い地域に学び、さらには地域へ貢献する活動をおこなう。

(活動を進めるためのアクティビティプログラム)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
生活		町探検 (2年)	公園探検 (1年)			公園探検 (1年)	町探検 (2年)	町探検 (2年)	町探検 (2年)	公園探検 (1年)		
総合	町の名人を探せ(3年)					池をきれいにしよう(4年)						
	ハートフルつつじが丘(5年)											
社会							豊橋の歴史を知ろう(6年)					
行事		530運動					530運動 ウォーク ラリー	スーパー クリーン 大作戦				

(1) 地域を知る活動

計画的に整備された町である本校区には、公園が遊歩道を中心に数多く設置されている。そこで、1年生では生活科で公園探検をおこない、公園の良さや違い、季節による変化について学習を進める。2年生では、校区にある大通り探検をし、どんな店や施設があるかを調べて、地域にあるすてきなところを発表し合う。

全校行事であるつつじウォークラリーは、10人前後の縦割り班を40班をつくり、校区の公園をクイズやゲームをしながら歩く。校区には10以上もの公園があるために、道順も考えて楽しみながら歩くことができるとともに異年齢集団の中で豊かな人間関係を育むことができる。



生活科「公園探検」
校区には行ったことのない公園もたくさんあるんだね。



全校行事「つつじウォークラリー」
公園で違う学年の子とゲームができて楽しいな。校区のこともわかるね。

(2) 地域に触れ合い、地域に学ぶ

3年生の総合学習では「町の名人をさがせ」と題して、地域に住む畳職人、鬼瓦職人、うどん職人を訪ねてその工夫や努力を知る活動を行う。また5年生の総合学習では「ハートフルつつじが丘」と題して、福祉について学ぶ。校区にある福祉施設を訪問し、そこを利用する人々との触れ合いから福祉について学びを深めていくとともに、地域の特性やその役目を考える活動を行う。

6年生では「豊橋の歴史を知ろう」と題して、豊橋市にある歴史的遺構に目を向け郷土の歴史を社会科の学習とリンクさせて学ぶ。またユネスコ協会の方を招いて戦争と平和についての出前授業をしていただく。

このように地域の遺物や人を重視し、地域に学ぶ活動を通して、地域に対する愛着や発展させたいという願いをもてるようになって考えている。



総合「ハートフルつつじが丘」
お年寄りとの交流で学んだことがたくさんあったよ。



社会「豊橋の歴史を知ろう」
戦争と平和について考えたよ

(3) 地域に貢献する

4年生の総合学習では校区に隣接する幸公園の中にある長三池の水質保全について学習する。ロータリークラブの方々に協力していただき、水を浄化するEM菌培養液の投入、さらにメダカの放流と、実践的な活動を行っている。

全校行事としては、年2回の530運動を行い、学校周辺の美化につとめる。また東部中学校との連携行事としてスーパークリーン大作戦を行う。4年以上のボランティアの児童、保護者、校区の方々が協力して校区の遊歩道を中心に公園の美化活動を行う。

自分たちの町をよりよく住みやすくするためにどうしたらよいかを考えて、環境保全のための活動を行事や総合的な学習として取り入れる。



総合「池をきれいにしよう」
水をきれいにするためにEM活性液を投入したよ。



**小中連携行事
「スーパークリーン大作戦」**
中学生や校区の方々と一緒に近くの公園をきれいにしました。

Type of materials to be used (使用する教材)

- ・啓林館「生活」
- ・社会科副読本「かがやく豊橋」 平成23年4月1日発行
編集：豊橋市立小学校社会科副読本研修委員会
発行：豊橋市教育委員会
- ・校区誌「つつじが丘」

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

教師は、日常生活の中でも児童の態度や姿勢を観察し、プロジェクトの後には振り返りカードへの記述によって評価する。それとともに、以下のような評価方法をとる。

- ・児童の様々な活動への評価を、授業中の話し合い活動の様子や調べ学習の様子等で評価する。
- ・学習や活動のまとめとしての授業公開や行事等での成果の発表や地域への発信を通して、関心・意欲・態度等を観察し、評価する。

上記の評価とともに、学校評議員を通じての地域からの評価、行事や保護者会後のアンケート調査、全保護者を対象としたアンケート調査の結果等から、ESD アクティビティプ

プログラムの見直しを図り、地域に愛着を感じ、地域とともに成長するつつが丘の子どもたちを育成するための活動内容を改善していく。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))
Position, (役職)
Institution's name (学校名)